



Information

2018.12

Vol. 82

# 日本気象協会の最新事業のご紹介

## Contents1

日本気象協会は2020年5月に創立70周年を迎えます  
～気象のコンサルティング企業として「激甚化する気象環境への対応」や  
「気候変動への緩和・適応」を通じて「百年企業」を目指します～

## Contents2

気象・POSビッグデータ解析結果より 小売業向けに約500種類の『需要予測指数』を開発  
～提供価格を月額数万円に抑制、小売業のデータ活用を推進～

## Contents3

ドローンによる上空気象観測にて「霧」の発生・消散メカニズムの解析を開始  
～立命館アジア太平洋大学(APU)にて6月に行った実証実験結果と今後の展開について～

## Contents4

Wind Integration Workshop 2018で  
風力発電出力急変の予測に関する口頭発表・ポスター発表を行いました

## Contents5

気象データ入電状況通知システム「MIEmAS」(みえます)の提供を開始  
～警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援します～



山形県尾花沢市 銀山温泉

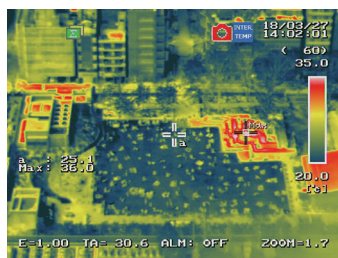
## 日本気象協会は2020年5月に創立70周年を迎えます ～気象のコンサルティング企業として「激甚化する気象環境への対応」や 「気候変動への緩和・適応」を通じて「百年企業」を目指します～

日本気象協会は、2020年5月10日に創立70周年を迎えます。日本気象協会は気象のコンサルティング企業として、「激甚化する気象環境への対応」並びに「気候変動への緩和・適応」に関する提案・活動を続け、社会に貢献し「百年企業」を目指します。

昨今、世界的規模で気象環境が激甚化してきており、民間気象会社の社会的役割も増大しています。1950年に気象業務を開始して以来、日本気象協会は民間気象会社のパイオニア企業として気象観測やデータ解析の実施、気象情報・解説予報の提供、防災・減災に関する仕組み作り、エネルギー問題への気象面からの対策支援などを行ってきました。



複合気象センサーを搭載し、鹿児島県の桜島周辺の高層気象を観測するドローン



地球温暖化対策と熱中症対策の大切さを伝える「サーモカメラで見える！打ち水効果の観測実験in南池袋公園」

近年は各種のITソリューションを活用し、これらの調査解析技術や情報提供技術の向上を図っています。

### <創立70周年に向けた日本気象協会の事業方針>

- 気象技術の担い手である日本気象協会職員が培ってきた知見や経験をもとに、多岐多様な外部とのネットワークも活用していきます
- 激甚化する気象災害への対応・行動に関する的確・迅速なコンサルティングを通じて、社会の発展に貢献していきます
- 気候変動を緩和するための再生可能エネルギーの普及等への寄与、省エネルギーや食料廃棄、社会の効率化など気候変動への適応を行うための活動を積極的に支援していきます

### <創立70周年に向けた日本気象協会の宣言>

#### 「気象×ひと」の日本気象協会です

この事業方針と宣言は、日本気象協会が「百年企業」として創立100年を迎える2050年の時代にも、社会が活気ある未来を築いていることを目指した事業方針であり、心構えであると考えています。日本気象協会は今後も積極的な企業活動を展開していきます。



創立70周年事業に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2018/10/post-001092.html>

## 気象・POSビッグデータ解析結果より 小売業向けに約500種類の『需要予測指数』を開発 ～提供価格を月額数万円に抑制、小売業のデータ活用を推進～

日本気象協会は、小売業向けの『需要予測指数』を開発しました。気象条件の急変による需要の変動を事前に把握することで、小売店での発注量の適正化や機会ロスの削減による生産性向上、総菜などの作りすぎによる食品ロスの削減が可能になります。本サービスは2018年度末からの提供開始を目指しており、予測情報の配信費用を月額数万円からとすることで2021年までに200事業者への導入を目指します。

本サービスは日本気象協会から直接小売業への販売を行う他、需要予測サービスや集客・販促アプリケーションなどを展開するIT系事業者と提携し小売業へのサービス提供を行います。



※画面はイメージです。実際のコンテンツ・数値は異なる場合があります。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2018/10/post-001098.html>

## Contents3

2018.09.18発表

## ドローンによる上空気象観測にて「霧」の発生・消散メカニズムの解析を開始 ～立命館アジア太平洋大学 (APU) にて6月に行った実証実験結果と今後の展開について～

日本気象協会は、京都大学防災研究所、山口大学、明星電気株式会社と共同で、「霧」の発生・消散メカニズム解析を開始しました。

本解析には、従来から行っている地上観測地点での霧の観測に加え、ドローン(UAV:Unmanned Aerial Vehicle、無人航空機)による上空気象観測を組み合わせることで立体的に行います。

### 1. 概要

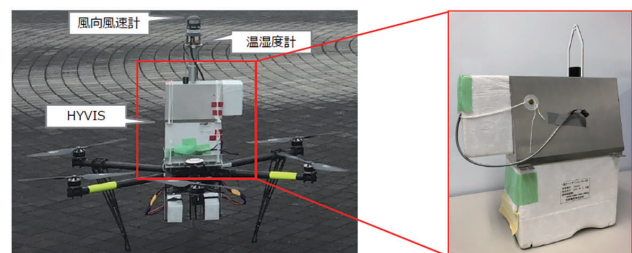
霧の発生による視界不良が経済や日常生活へ与える影響については、これまでさまざまな分野にて議論がなされてきました。今回の解析では、西日本高速道路株式会社九州支社の協力を得ながら、大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学 (APU) にて、ドローンを活用した上空気象観測を実施します。解析を通じ、気温や湿度、風向風速、霧粒子の鉛直分布の構造と変化を詳細に把握していきます。今後は霧の発生・消散メカニズム解析を通じ、大分自動車道をはじめとする国内各地での霧の発生・消散予測精度の向上を目指します。

### 2. 調査場所選定に関して

大分空港への主要アクセス道でもある大分自動車道(別府～湯布院)では、広域かつ頻繁に発生する霧による通行止めが

多発しています。平成28年度の全国高速道路を対象とした霧通行止め時間ワーストランキング(平成28年度)によると、別府湾周辺の大分自動車道、宇佐別府道路、日出バイパスの通行止め時間は265.4時間で、上位10位までを独占しています。

このため、霧通行止めによる地方経済および地域住民への生活の影響が大きくなっています。また、別府湾周辺の霧の特性から、特に通行止め解除のタイミングを的確に捉えることが難しく、通行止め時間の削減に向けた、解除判断の迅速性が求められています。



気象センサーと雲粒子ゾンデ(HYVIS)を搭載したドローン



この内容に関する詳細につきましては、  
下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2018/09/post-001076.html>

## Contents4

2018.10.25発表

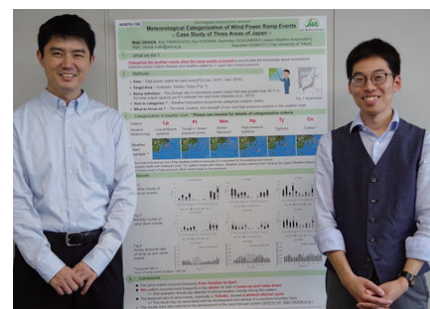
## Wind Integration Workshop 2018で 風力発電出力急変の予測に関する口頭発表・ポスター発表を行いました

日本気象協会は、2018年10月18日(木)にスウェーデン王立工科大学で開催された風力発電に関する国際会議「Wind Integration Workshop 2018」にて、風力発電出力急変に関する2件の発表(①口頭発表:予測システム開発、②ポスター発表:気象学的分類)を行いました。

本発表では、日本気象協会が参画する、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)事業「電力系統出力変動対応技術研究開発事業(2014～2018年度)」で得られた研究成果を紹介しました。当事業では、電力の安定供給への影響が懸念される風力発電出力の急変現象(ランプ現象)の研究開発を行っています。日本気象協会は、日本大学と筑波大学と連携し、ランプ現象の予測に関わる研

究開発に取り組んでいます。

なお本国際会議は、2000年より毎年開催され、各国・各地域の風力発電に関する最先端技術や情報が発表される国際会議です。



発表したポスター

左:小笠原 範光、右:岡田 牧

※本ポスターは、Wind Integration Workshop 2018で発表され、本国際会議の論文集に掲載されました。



この事業に関する詳細につきましては、  
下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2018/10/post-001100.html>

# 気象データ入電状況通知システム「MIEmAS」(みえます)の提供を開始 ～警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援します～

「MIEmAS」(Meteorological Information Emergency-Alert Service)は、国政・行政を先導に進んでいる災害への備えをより効果的なものとするために、「いち早い”気づき”」を支援するウェブサービスです。気象警報や地震情報など、発表状況をすばやく表示しポップアップ通知します。さらに、表示・通知させる情報の種類や地域は必要に応じて表示・非表示を設定することができますので、一見して知るべき情報を入手することができます。スマートフォンでも利用でき、いつでもどこでも情報を知ることが可能です。



## MIEmASのポイント

- 気象警報をはじめ、あらゆる気象情報・速報等をいち早く表示します。
- 気象情報、速報などの発表は、音声やポップアップで通知します。
- 表示形式のほか、地図形式でも表示が可能です。
- 表示・通知させる情報の種類や、都道府県をお客様ご自身で設定することができます。
- PCだけでなく、スマートフォンなどモバイル端末でも利用できます。



PC版一覧表示例

スマートフォン版一覧表示例



地図表示例 地域設定により拡大表示も可能です。

このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。  
<http://www.jwa.or.jp/service-business/service/1102.html>

## トピックス

2018.10.05発表

### 日本気象協会を装った迷惑メールにご注意ください

日本気象協会や、日本気象協会の天気予報専門メディア「tenki.jp」を装った迷惑メール/詐欺メールが届いたとのご連絡を多数いただいています。このような迷惑メール/詐欺メールは日本気象協会とは一切関係がありません。

また、日本気象協会は個人で「tenki.jp」などのサービスを利用されている方の電子メールアドレスを保有しておらず、日本気象協会から特定/不特定の個人の方に対して電子メールによるご案内を行っていません。

緊急の気象変化に関する通知を装ったメールや、心当たりの無いアドレス、見知らぬアカウントで投稿された、災害通知を装ったSNSの投稿などについても、記載されているリンク先アドレスを絶対にクリックしないでください。メールは削除、または「迷惑メール」として破棄していただきますようお願い申し上げます。

<例>

- 日本気象協会または「tenki.jp」から発信されているように装い、「台風是最悪のコースへ。今後の動向にご注意下さい。」という説明とともに詳細情報を装ったURLが貼ってある。
- 日本気象協会または「tenki.jp」から発信されているように装い、「この先24時間でお住まいの地域が冠水する危険性があります。ご注意ください。」という説明とともに詳細情報を装ったURLが貼ってある。添付ファイルが付いている。

など。

もし、このような迷惑メールによって金銭的な被害を受けた等ありましたら、速やかにお近くの警察署に被害届を出すようお願いいたします。また、迷惑メールに関する情報提供を受け付けている窓口も存在しています。

※一般財団法人 日本データ通信協会の「迷惑メール相談センター」への情報提供はこちら  
<https://www.dekyo.or.jp/soudan/contents/ihan/>

一般財団法人 日本気象協会



<https://www.jwa.or.jp>  
<https://tenki.jp>

本社	〒170-6055	東京都豊島区東池袋3丁目1番1号サンシャイン60 (55階)
北海道支社	〒064-8555	札幌市中央区北4条西23丁目1番18号
東北支社	〒982-0841	仙台市太白区向山4丁目20番14号
中部支社	〒462-0042	名古屋市北区水草町1丁目21番5号
関西支社	〒542-0081	大阪市中央区南船場2丁目3番2号南船場ハートビル (15階)
九州支社	〒814-0002	福岡市早良区西新一丁目10番27号西新プライムビル (6階)

電話 (03) 5958-8111	FAX (03) 5958-8113
電話 (011) 622-2230	FAX (011) 640-2383
電話 (022) 216-4181	FAX (022) 216-4188
電話 (052) 912-1111	FAX (052) 911-0117
電話 (06) 6266-8420	FAX (06) 6266-8430
電話 (092) 833-8721	FAX (092) 833-8722

